

## 総合計画審議会委員の意見反映状況

各委員からのご意見のうち、前期基本計画案に反映したご意見については、以下のとおりです。

## ●第3回審議会における意見と前期基本計画案への反映

菅原委員	<p>○基本目標7の「地域活動・市民活動」の今後の取組「2 地域コミュニティ活動への活性化の支援」というところで、しっかりと支援していくと記載してあるところも良いと思う。成果目標では、情報発信も重要ですが、支援について何かもう一步踏み込んだ成果目標があれば、さらに進んでいくのではないかと、町内会の活動支援になるのではないかとと思う。</p> <p>⇒P107 基本目標7(1)地域活動・市民活動 成果目標を変更</p> <div data-bbox="424 645 1388 761"> <p>&lt;成果目標&gt;  地域活動・市民活動情報発信件数 4回 ⇒  地域活動・市民活動支援事業の年間参加者数 80人</p> </div>
村上委員	<p>○子どもだけではなく、大人が社会に出にくい状況にある家庭や人がいると聞いている。一般的に引きこもりということになると思うが、そのような方が富谷市にはどれくらいいらっしゃるかは分からないが、そうした状況に興味を持って、そのような方たちが社会に出てこられるような環境づくりは、一つの大きな課題だと思う。</p> <p>⇒P72 基本目標4(1)地域共生 現状及び P73 今後の取組に追記</p> <div data-bbox="424 1008 1388 1420"> <p>&lt;現状&gt;  ●ひきこもり支援については、保健福祉部局と教育部局の緊密な連携のもと、民間団体や医療機関、児童相談所など、関係機関との連携を更に強化することにより、学齢期からの早期支援と、切れ目のない支援体制の構築を進めています。</p> <p>&lt;今後の取組&gt;  3 相談事業の推進と援助体制の強化  ●ひきこもり支援については、とりわけ支援につながっていない方及びご家族への相談支援やアウトリーチの取組を拡充するとともに、地域全体で支える支援体制の構築を進め、本人の意思を尊重しながら、一人ひとりに寄り添った、きめ細やかな支援の充実に努めます。</p> </div>
小松委員	<p>○基本目標4の「高齢者支援」の今後の取組3に、「認知症の方を含めたすべての高齢者が希望をもって自分らしく暮らすこと」とあるが、その中に「家族」も一緒に希望を持って自分らしく暮らすことができるという意味で、「家族」という言葉も入れてもらいたい。また、説明文に「チームオレンジ」という言葉があるが、チームオレンジとは何なのか分からないので、その説明も入れてもらいたい。</p> <p>⇒P77 基本目標4(3)高齢者支援 今後の取組に追記</p> <div data-bbox="424 1706 1388 1926"> <p>3 認知症施策の推進  ●認知症の方を含めたすべての高齢者と家族が、希望を持って自分らしく暮らすことができるよう、地域との懸け橋となる「チームオレンジ※」を共に構築し、地域の見守りや社会参加の体制を整備します。  ※チームオレンジとは、認知症サポーターがチームを組み、認知症の方や家族に対する生活面の支援等を行う仕組みのことです。</p> </div>